学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)応用国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	新版二訂　みるみる実力アップ 現代文　２　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進学を目ざす人を対象に、現代文よりも高度な授業を行います。問題演習を通して論理的に読解する練習を行います。
・国語が得意な人も選択できます。

2　学習の到達目標

・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述したりすることができる。
・文章に書かれた人物、情景、心情などを、表現に即して想像し、読み味わうことができる。
・対象を的確に説明するなど、適切な表現の仕方を考えて書くことができる。
・話題について客観的かつ多角的な視点で分析・検討して自分の考えを持ち、根拠を明確にしながら意見を述べることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を適切に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察	行動の観察 行動の確認 （授業中の発言や発表）	行動の観察 記述の点検 記述の確認 記述の分析 （問題集、プリント） 定期考査	行動の観察 行動の確認 定期考査	行動の確認 記述の確認 （問題集、プリント） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	評論の読解	評論の読解方法を学び、問題演習を通して身につける。 要約 漢字・語句 教材: 「みるみる実力アップ現代文2」	○		○	◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。 c:目的に応じて、文章をまとめたり、詳述したりしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組立て、語句の意味や用法について理解している。	a:行動の観察 c:行動の観察および確認、記述の確認 d:行動の観察および確認、記述の確認 e:定期考査
1	小説の読解	小説の読解方法を学び、問題演習を通して身につける。 要約 漢字・語句 教材: 「みるみる実力アップ現代文2」	○		○	◎	○	a:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。 c:目的に応じて、文章をまとめたり、詳述したりしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:読むことに必要な文章の組立て、語句の意味や用法について理解している。	a:行動の観察 c:行動の観察および確認、記述の確認 d:行動の観察および確認、記述の確認 e:定期考査
2	評論の読解	より難易度の高い評論を、客観的に読み、的確に理解し、表現することを学ぶ。 要約 漢字・語句 教材: 「みるみる実力アップ現代文2」	○		○	◎	○	a:考えの進め方など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 c: 目的に応じて、文章をまとめたり、詳述したりしている。 d:考えの進め方など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 e: 読むことに必要な文章の組立て、語句の意味や用法について理解している。	a:行動の観察 c:行動の観察および確認、記述の確認 d:行動の観察および確認、記述の確認 e:定期考査

2	小説の読解	より難易度の高い小説を、客観的に読み、的確に理解し、表現することを学ぶ。 要約 漢字・語句 教材: 「みるみる実力アップ現代文2」	○		○	◎	○	a:情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 c:目的に応じて、文章をまとめたり、詳述したりしている。 d:情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e: 読むことに必要な文章の組立て、語句の意味や用法について理解している。	a:行動の観察 c:行動の観察および確認、記述の確認 d:行動の観察および確認、記述の確認 e:定期考査
3	評論・小説の読解	文章を的確に理解する。筆者の意見や、小説の主題に対して自らの意見をわかりやすく表現し、発表する技能を学ぶ。 要約 漢字・語句 教材: 「みるみる実力アップ現代文2」	○	◎	○	○	○	a:考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるように話そうとしている。 b: 考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるように話している。 c:自分の考えが、確実な根拠に支えられ、前後矛盾することなく論理的に展開する文章を書いている。 d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 b:行動の観察および確認 c:行動の確認、記述の点検および確認 d:行動の観察および確認 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。